

(2) 訪問団体 仙台市人來田生活学校

訪問先 仙台市あすと長町仮設住宅

訪問日時・場所	第1回 10月26日(水) 13:30~15:00 あすと長町仮設住宅
参加人数	6名(子ども3名、高齢者3名)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・うた 赤トンボ ・紙芝居 舌切り雀 ・紙トンボ 牛乳パックでの紙トンボを作り、色を塗り飛ばして遊んだ。 ・魚釣りゲーム ブルーシートを敷き、釣り竿で釣る ・踊り 鬼のパンツ、レクダンス風で楽しい踊り。
参加者の感想	・人数は少なかったが、子どもも高齢者の方も大変喜び、紙トンボ、魚釣りゲームには、今度また持ってきてと、帰り際にリクエストがあった。
メンバーの感想	<ul style="list-style-type: none"> ・14時を過ぎても子どもたちの姿が見えず、仮設住宅を廻ってみたが、子どもたちの姿がなく、あきらめて事務所に戻り、市職員に相談したところ、仮設住宅に住んでいるお母さんがもう少しすると1、2年生が帰宅するので、呼んできてあげると言われホッとした。また、ボランティアの人も気の毒がって声掛けをしてくれた。 ・おかげで、14時30分過ぎに1、2年生が各1名、高齢者が4名参加してくれた。 ・終了後に、ポスターはあまり効果がないことがわかり、次回は200枚のチラシをポスティングすることにする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅に入居している方々は、日中あまり居ないということがわかった。 ・走り回って喜んでいたので、今後、「鬼ごっこ」のような遊びも取り入れたほうが良いと思った。 ・帰宅時間に合わせて開始時間を1時間遅らせることにした。




訪問日時・場所	第2回 11月16日(水) 14:00~15:30 あすと長町仮設住宅
参加人数	10名(子ども8名、高齢者2名)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・うた 幸せなら手をたたこう、ドレミの唄 ・紙芝居 しょうじきこぞうさん ・魚釣り ・紙トンボ ・お手玉で輪投げゲーム ・踊り 鬼のパンツ
参加者の感想	・魚釣り、紙トンボ、お手玉で輪投げゲーム、すべて好評で、大変喜ばれたて良かった。
メンバーの感想	<ul style="list-style-type: none"> ・時間前に集会所に行ったが、1回目に来た子どもたちの宣伝が良かったのか、すでに8人の子どもたちと親たちが待っていてくれ、大変感激した。 ・3日目に向けて元気がでてきた。
その他	・今回は、お茶だけでなく、ジュースとおせんべい類のおやつを少し揃えたところ、子どもたちは、大喜びしてくれた。

訪問日時・場所	第3回 11月30日(水) 14:00~15:30 あすと長町仮設住宅
参加人数	11名 子ども5名、子どもの母親1名、高齢者5名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・うた ジングルベル、赤鼻のトナカイ ・紙芝居 ふしぎなしゃもじ ・ビンゴゲーム 名前ビンゴゲーム ・チャンバラゲーム 新聞紙で作成した刀で遊ぶ ・お手玉で輪投げゲーム ・踊り 鬼のパンツの踊り レク体操
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りの力、大人も子どもも楽しめた。 ・鬼のパンツの踊りでは、一同が輪になり大盛り上がり。帰りには「次はいつ来てくれるのか」と皆に聞かれた。



メンバーの感想	・ 3回目になり、子どもも大人も私たちに慣れ、打ち解けてくれ、次回を楽しみに帰ってくれたのが嬉しかった。
その他	・ もともと仮設住宅には子どもの数も少なく、日中家にいる高齢者も少ないので、あまり欲張ったことはできないが、少しでも私たち生活学校の存在を認めてくれるようになった事が嬉しかった。

訪問日時・場所	第4回 1月25日(水) 14:00~16:30 あすと長町仮設住宅
参加人数	17名(子ども7名、高齢者10名)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ うた お正月のうた ・ 紙芝居 おばあちゃんの誕生日 ・ ビュンビュンごま タコ糸をつけた台紙に好きな色を塗り遊んだ。 ・ トランプ 7並べで高齢者も子ども時代に帰り、大変楽しく遊んでくれた ・ ポーリング大会 ペットボトルにペレットを入れ、ソフトボールのボールでペットボトルを倒す遊び。 ・ 一寸早めの豆まき 子どもに豆をまかせ、高齢者に鬼になってもらい、大盛り上がりのひと時でした。
参加者の感想	・ 高齢者はしばらくぶりに大笑いをしたと大喜び。子どももお菓子や飲み物にカラ付の豆を袋に入れてもらい、大満足の様子でした。
メンバーの感想	・ 豆まきの様子をメンバーは脇で見ている、高齢者や子どもたちが大はしゃぎをしている様子を見て、自分たちも楽しくなった。あと1回で終わると思うと、寂しいと皆で話し合った。
その他	<p>・ 今回は仮設住宅運営委員会の協力で、参加者が17名と今までで一番多くの方が集まってくれ、メンバー一同、大満足の一日でした。次回は会場の都合で、2月11日(土)になり、どの程度人が集まってくれるかが心配です。</p> 

訪問日時・場所	第5回 2月11日(土) 11:00~13:00 あすと長町仮設住宅
参加人数	14名(子ども6名、高齢者6名、若い母親2名)
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 紙芝居 おさんぎつね 2. お手玉まわし わらべうたを歌いながら 3. 昔あそび 仮設住宅に住んでいる高齢者の指導でお手玉遊び 4. 三味線で遊ぶ 牛乳パックで作った三味線で、津軽三味線の曲に合わせて三味線(弦はタコ糸使用)を弾くそぶりに、子どもたちは大喜び 5. 鬼のパンツ 鬼のパンツは何度やっても人気の踊り
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日は1歳児を連れて若い母親(夫はオーストラリア出身)が来て、子どももみんなの中に入って大喜び。最後まで楽しんでくれた。 ・ 今回が最後になることを話したら、子どもも高齢者も大変がっかりした様子。またご縁があったらお会いしようとして別れた。
メンバーの感想	・ あっという間の5か月間、はじめは手探りの状態で始めた支援活動であったが、2~3回と実施を重ねているうちに、子どもたちや高齢者との絆も深まり、機会があったら訪ねてみたいものとメンバー一同の思いを胸に、5階の訪問支援活動を無事終了した。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5回目が2月11日(土)10時~12時までの予定で会場予約していたが、3日前に急に区役所から11時からに変更してほしいと依頼があり、時間を遅らせて開始したが、当日、集会所に行きその意味がはじめてわかった。 ・ 私たちが集会所に着いたら、着物を着た若いカップルと父親らしい人が会場から出てきてテレビの取材に応じていた。何があったんだろうと思ったところ、「父親の住んでいる仮設住宅から嫁に行きたい」という花嫁の希望を聞いた仮設住宅運営委員会が、集会所を利用して、晴れの門出にお骨折りをしてくれたことがわかり、私たちのこの門出に一役買ったのだと思うと、晴れ晴れした気持ちになった。 